

# 白石の農×育てる人

～農家の輝く姿を情報発信！～

2カ月に1回、白石のすてきな農家さんを紹介していきます！ 私たちの身近にある「農業」の情報を楽しくお届けします。

今回は、試行錯誤を続け、よりよい作物を栽培しようと奮闘する「園芸農家」の佐久間義則さんと佐々木達也さんに話を伺いました。



☎農林課 ☎22-1253

## 白石の土地を代々守り続けています！



白石市認定農業者  
さくま よしのり  
佐久間 義則 さん

会社員として勤めていた義則さんは、30歳を前に父の後を継いで農家になりました。父が行っていた野菜の生産ではなく、より収益が見込める菊の花の生産を約30年間行い、60歳からは体力の低下から野菜の生産に切り替え、現在まで幅広い品目の野菜を栽培しています。義則さんは、畑に朝と夕方の2回行き、作物の生育環境などに問題がないか、毎日チェックを欠かさずに行っています。また、近年農業に大きな影響を与えている地球温暖化対策として、土にすき込むと分解されるマルチシートの使用や暑さに強い品種に変更するなど、日々の作業や工夫によって、高品質で安定した野菜の生産を目指しています。



▲土にすき込むと分解される農業用マルチシートを張っている義則さん

代々の土地を受け継ぎ、白石の農業を長年支えている義則さんを応援していきます。

## 栽培から販売までより良いものを目指して試行錯誤を続けています！

達也さんは、仙台市で会社員として勤めていましたが、本市で野菜の収穫を手伝ったことをきっかけに農業に興味を持ち、平成28年から農業を始めました。農薬や化学肥料を使用しない点にこだわって、ジャガイモを中心とした野菜を栽培しています。

達也さんは当初、鳥獣被害や自然環境などに苦悩しましたが、近隣の農業者からのアドバイスのおかげで、徐々に環境に適した農業を展開しています。現在は、試行錯誤を繰り返し、野菜の生産にとどまらず「顔の見える生産者」として、自身のジャガイモを使用したじゃがバターの販売にも力を入れています。



▲バセリの種まきをする達也さん。じゃがバターとの相性は抜群！



おおあみファーム  
ささき たつや  
佐々木 達也 さん

また、農業祭や夏まつりに出店するなど、白石の農業をさまざまな面から盛り上げている達也さんの活躍から目が離せません。




## 日頃より分別にご協力いただきありがとうございます

今回は紙の分別について詳しくお伝えします。紙類で出されているものの中に、リサイクルできないものが混ざっていることがあります。一部を紹介するので、次にごみを出すときから意識して分別をお願いします。

☎環境課 ☎22-1314



### 混ぜないで！ 紙のリサイクルに支障がでます

ティッシュ・ペーパータオル 	使用済み、未使用にかかわらず全てもやせるごみへ。
靴やかばんなどの詰め物	緩衝材として入っている薄い紙はすべてもやせるごみへ。
ロウ引き段ボール	輸入果物が入っていた段ボールに多い。通常の段ボールより裏面の色が濃く、表面を擦ると指にロウが付きます。
食品の汚れが付いた紙箱、紙容器 	ピザの箱、ドーナツ・ケーキの箱、テイクアウト容器など。食品の一部や油などがついたものはリサイクルできません。
内側が銀色の紙パック (アルミコーティング紙)、金銀箔押し紙 	野菜ジュースなどの紙パックの内側に注意！ 金銀の折り紙などもこれに該当します。
紙コップ、紙皿、ヨーグルトの容器など 	内側が撥水加工になっているもの(触ってツルツルしているもの)はリサイクルできません。紙パック(主に牛乳パック)は内側が白いもののみ資源ごみとして回収できます。洗って開いて乾かし、まとめてしぼって出してください。

以上のものは一例ですが、特殊加工がされている紙はリサイクルできないものが多いので、もやせるごみで出させていただきますようお願いします。